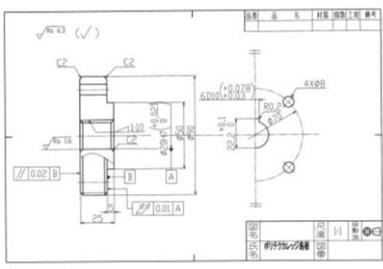
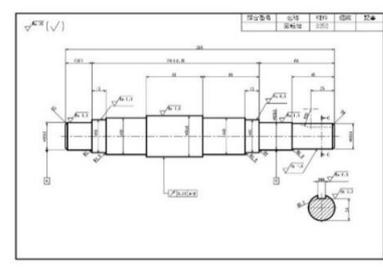


## 機械図面の読図、製図法の習得をめざしませんか？

コース名		実践機械製図			
コース番号	6M101	日程	6/23(水), 24(木), 25(金)	時間	9:00~16:00 (合計18時間)
定員	10名	会場	ポリテクカレッジ島根 (江津)	受講料	¥12,000
訓練目標	機械設計／機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。				
対象者	<b>機械図面の読図・製図方法を学びたい方にお勧めします。</b> (機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者)				
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>製図一般                     <ol style="list-style-type: none"> <li>図面の役割 (2) 製図規格の確認 (3) 投影法の確認</li> <li>図面より立体形状の実践的把握</li> </ol> </li> <li>機械製図上の留意事項                     <ol style="list-style-type: none"> <li>製図立体モデルより2次元図面への効果的図示法</li> <li>加工を考慮した効果的寸法記入法</li> <li>機能上の要求に基づく公差記入法</li> <li>製品性能と表面性状</li> </ol> </li> <li>実践的設計図面の描き方                     <ol style="list-style-type: none"> <li>事例から学ぶ設計製図</li> </ol> </li> <li>製図総合課題                     <ol style="list-style-type: none"> <li>組立図及び部品図の課題実習</li> <li>確認・評価</li> </ol> </li> </ol> <div style="text-align: right;">  <p>(課題例)</p> </div>				
使用機器	製図機器・用具一式、各種機械部品図面等				
持参品	筆記用具				

## CAD技術を習得し、製図の効率化をめざしませんか？

コース名		2次元CADによる機械製図技術			
コース番号	6M102	日程	5/19(水), 20(木), 21(金)	時間	9:00~16:00 (合計18時間)
定員	10名	会場	ポリテクカレッジ島根 (江津)	受講料	¥15,000
訓練目標	機械設計／機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた構想段階から具体的加工の指示を出すための図面の作図を通して、CADを使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的な使用法及びデータ管理方法について習得します。				
対象者	<b>2次元CADによる図面作成方法を学びたい方にお勧めします。</b> (製造業全般の製品企画、設計、生産業務などに従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者)				
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>構想から図面への考え方                     <ol style="list-style-type: none"> <li>構想を図面化する (2) 新規設計と流用設計について</li> </ol> </li> <li>機械製図の留意事項                     <ol style="list-style-type: none"> <li>図面から立体形状を把握する (2) 投影法の選択</li> <li>寸法記入及び公差 (4) 表面性状と幾何公差</li> </ol> </li> <li>製図効率を向上させるための準備                     <ol style="list-style-type: none"> <li>製図効率を向上させるために事前に準備しておくべき事項</li> <li>基本構想段階でのCADの使い方</li> <li>詳細設計段階でのCADの使い方</li> <li>製図段階でのCADの使い方</li> </ol> </li> <li>実践課題                     <ol style="list-style-type: none"> <li>構想の具体化(構想からの具体的設計法) (2) 詳細設計(製品機能を重視した詳細設計)</li> <li>作図(対象製品に要求される適切な寸法公差の考え方)</li> <li>幾何公差の解釈と選択方法及び決定方法 (5) 使用目的別作図 (6) 総合演習問題</li> </ol> </li> </ol> <div style="text-align: right;">  <p>(課題例)</p> </div>				
使用機器	2次元CADシステム (AutoCAD)				
持参品	筆記用具				